

平成 28 年度第 2 回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました

平成 29 年 3 月 24 日（水）から 26 日（金）まで、平成 28 年度第 2 回トータルヘルスケアワークショップとフィールドワークを開催しました。

今回は新潟大学、新潟薬科大学、獨協医科大学、秋田大学、聖マリアンナ医科大学、信州大学、岩手医科大学と県内外の 19 名の学生が参加してくれました。



一日目のワークショップでは、アイスブレイキングで、初対面同士の緊張をほぐした後、歯科医師から「口腔ケアの重要性」のタイトルで、多くの疾患に口腔病変の関連性があるなど、レクチャーを受けました。歯科衛生士さんから、口腔内の観察、ブラッシングなどの口腔ケアを実演してもらい、学生同士でも手技を体験しました。



つぎに「口腔ケアを通して考える超高齢社会の課題」について、KJ法を用いて課題の抽出を行いました。各班とも、口腔ケアの重要性の認識不足、口腔ケアを必要とする患者の増加など、様々な視点から問題点を抽出していました。午後からは、誤嚥性肺炎の予防について、ソーシャルキャピタルについて、ミニレクチャーがありました。その後、KJ法で抽出した課題をもとに、翌日のフィールドワークの目標について一般目標と行動目標をたててもらいました。



2日目は、上越市よねやまの里、阿賀町津川病院・東蒲の里、柏崎総合医療センター、上越市新潟労災病院、南魚沼市ゆきぐに大和病院の5地区に分かれて、口腔ケアをテーマにフィールドワークを行いました。各班とも口腔ケアについてのレクチ

ヤーを受けたり、嚥下体操と一緒に実演したり、嚥下食の試食や食事介助を間近で見学させていただき、有意義な体験実習を行うことができました。



3日目は、「フィールドワーク体験共有」として、前日のフィールドワーク先の医療現場で行われていた口腔ケアの様子や、実際に体験実習した内容、またそこからどのようなことを考えたかなどを、班ごとにプレゼンテーションして、2日目の各班の体験を共有しました。



最後に今回のトータルヘルスケアワークショップ・フィールドワークの感想をレポートにまとめてもらいました。ポスタアンケートの後、参加した学生に修了証が渡され、終了しました。



今回体験したことを、今後の学習や実習に役立ててもらえればと思います。私達スタッフも大変有意義な時間を過ごす事ができました。